



特定非営利活動法人

さいたまチャイルドライン

～ チャイルドラインのデータから ～

2024年度  
子どもの状況  
活動報告





## はじめに

平素より、子どもたちへの広報カードの配布・ポスターの掲示にご協力を賜り、感謝申し上げます。

2024年度の年間着信データから、子どもたちがかけてくる事柄や状況等のご報告を申し上げます。

この報告書は、埼玉県自殺対策強化補助金を受けて作成しております。

チャイルドラインは、全国39都道府県で活動する電話開設団体の連携・協働により運営されています。さいたまチャイルドラインは、全国の子どもたちから2024年度は年間で7,787件の電話相談と1,836件のチャット相談に対応しています。この報告書では、主に全国からの発信によるさいたまチャイルドラインの年間受信数のデータに基づき作成しています。

全国のチャイルドラインで対応された埼玉県内からの電話のアクセス数は17,684件、着信数は、9,982件（共にNTTトラヒック調査の確定値）ですが、会話が成立した件数はその内2,710件です。全ての子どもたちの声を受けとるには、ほど遠い状況です。子どもたちの電話離れが進んでいるとはいえ、生の声での対応を求める子どもたちの期待を裏切らないよう電話開設は大切な事業になっています。

子どもたちの悩み事や困っていること、どんな気持ちを訴えているのかなど、データから見えてくることがあろうかと思えます。この報告書をご一読いただき、参考にさせていただければ幸いです。

### 【特集】

日本のチャイルドラインははじめ問題で始まりました。どんな子どもの意見でも尊重し、子どもの気持ちをありのまま受け止め、寄り添って25年が経ちました。今回の報告書ではチャイルドラインがどのように誕生したのかを「特集」として掲載いたしました。どうぞご一読ください。

(認定) 特定非営利活動法人さいたまチャイルドライン  
代表理事 太田 久美・鈴木 愛

## 【特集】

# 子どもの命の危機がチャイルドラインをつくった

さいたまチャイルドライン共同代表 太田久美

1994年11月、愛知県西尾市で大河内清輝さん中学2年生が、遺書を残して自殺した。壮絶ないじめは、世間を震撼させた。遡って1986年東京都中野区で教師4名を含む同級生が鹿川裕史さんのお葬式ごっこを教室で行い、二か月後遠く離れた岩手県の盛岡で自殺した。「このままじゃ生きジゴクになっちゃうよ」という遺書が残されていた。

チャイルドラインの成り立ちは、世田谷での市民活動からだ。1996年に開催された「いじめ問題を考える」シンポジウムをきっかけに、現世田谷区長の保坂展人さんの紹介によりチャイルドラインの存在を知り、イギリスのチャイルドラインUKに視察に行ったのである。特筆すべきことは市民だけでなく、文部（当時）大臣ら国会議員もチャイルドラインUKに視察に行っていることである。そして、1997年国会内にチャイルドライン設立推進議員連盟（後にチャイルドライン支援議員連盟）が超党派で生まれた。

1999年に牟田貞三さん（俳優）と清川輝基さん（NHK長野支局長）の2名を代表とし、子どもの声を聴く大人を増やし、心の居場所づくりを使命としチャイルドライン支援センターを設立した。

牟田さんは「チャイルドラインで、コミュニケーションをとる練習をしてほしい」と常々話し、清川さんは「子どもたちにぬくもりを感じてほしい」と思いを語り、活動を全国に広げていった。

2006年、またしてもいじめ問題が社会問題化した。福岡の筑前町で中学2年生の子が自殺したが、1年生当時の担任教諭から「偽善者」と言われ、あだ名の原因をつくったことなどが報道された。鹿川さんもそうであったが大人が加担するいじめは実際にあり、許されることではない。同年、北海道滝川市において小6の子どもが7通の遺書を残して自殺を図り、年を跨ぎ死亡している。

この2件のいじめ事件は社会問題化し、文部科学省いじめの定義が変更され、各県に24時間対応の相談電話が開設されることとなった。

当時チャイルドラインは、より子どもがアクセスしやすい相談機関になるため、全国統一番号・フリーダイヤルを目指していた。保坂展人さんの協力の元、超党派の代議士5名の協力を得て、実現したのが現在も続くフリーダイヤルで2009年から本格運用した。当時フリーダイヤルに反対の団体もあったが、0120-99-7777は全国の団体の投票により選ばれ購入した番号だ。

その後統一番号は災害時の子どもサポートに大きな力を発揮することになる。2011年3月11日の東日本大震災では現地のチャイルドラインが開設できなくても、また県に無くても、子どもたちのSOSを受け続けることができた。全国が連携することでのダイナミズムである。

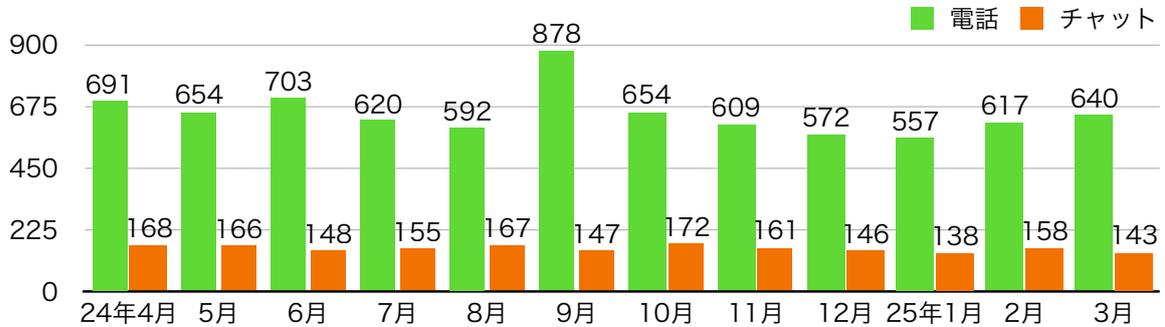
現在、こども基本法が施行され「子どもの聴かれる権利」が言われるようになった。これは子どもを権利の主体と捉えた言い方で前進である。子どもが安心して安全な社会で育つことを願うのであれば、子どもの声の中にこそ答えがある。25年間でインプットされた子どもの声は、決してチャイルドラインの私物にしてはいけない。有効な手段によりアウトプットし、子どもたちの生きやすさにつなげていくことこそが、受けたものの責務であり責任だと思われる。

# 1. さいたまチャイルドラインの年間受信数の推移

チャイルドラインは全国68団体が協働して行っている事業です。この報告書に掲載するデータは、さいたまチャイルドラインが全国の子ども達から受けた受信数をもとにしています。

電話

チャット

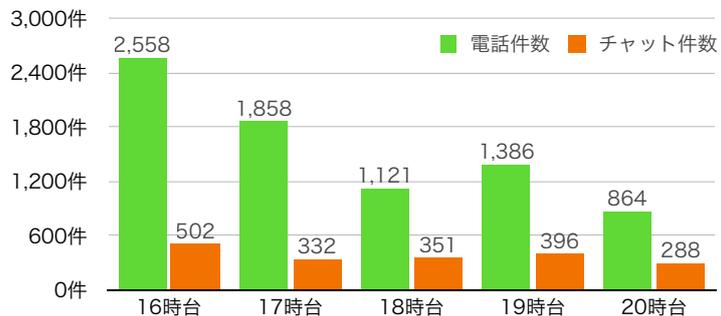


# 2. 受信時間帯

全国統一番号フリーダイヤルの開設…  
毎日午後4時～9時（12月29日～1月3日を除く）

電話

チャット



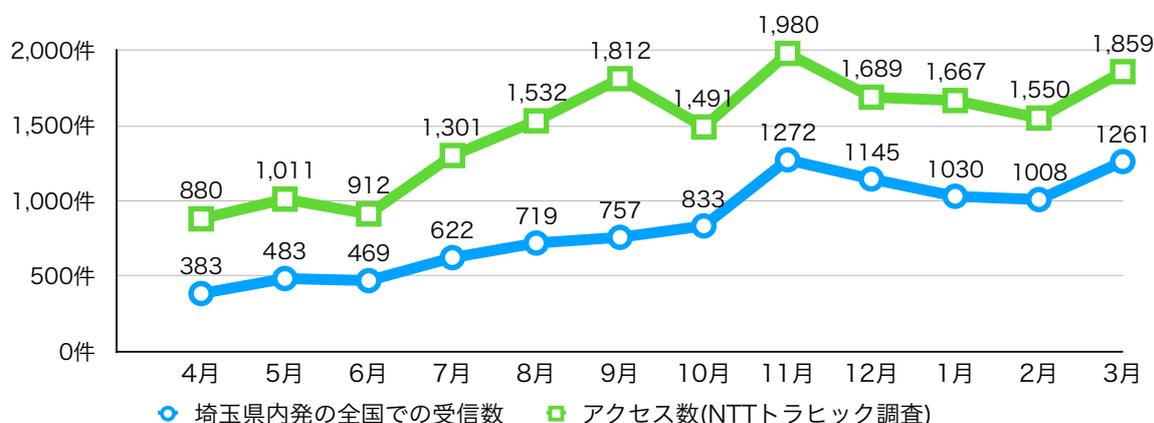
2024年度に配布したチャイルドラインのカードです。黄色は小学校用、青は中学校・高校用です。



### 3. 埼玉県内からの電話アクセス数と電話受信数

アクセス数 (NTTトラヒック調査)	埼玉県内の子どもがチャイルドラインに 電話した数（繋がらなかった電話を含む）	17,684 回
着信数 A	さいたまチャイルドライン（自団体）が 受信した数	7,787 回
着信数 B	埼玉県内発信の電話を全国の協働により 受信した数	9,982 回
着信率	着信数 B / アクセス数	56%

電話アクセス数と埼玉県内発の全国での受信数 電話

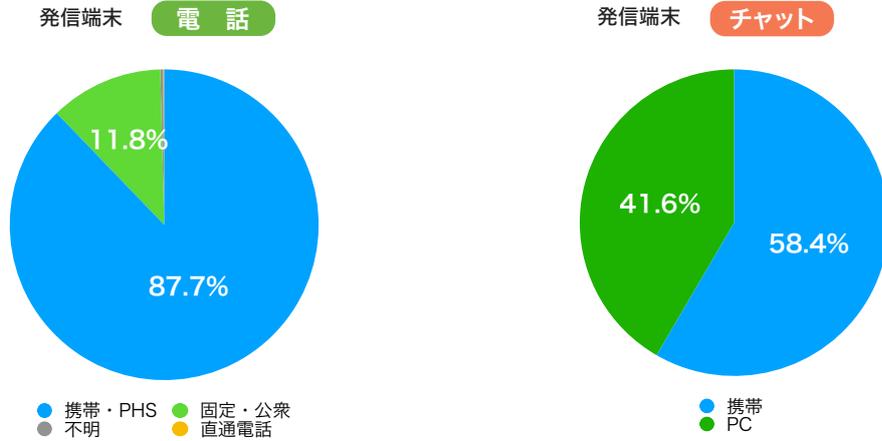


埼玉県内のすべての小中学校・高等学校・特別支援学校の子どもたちに、毎年、一人一枚カードが届くように、カード配布を行っています。

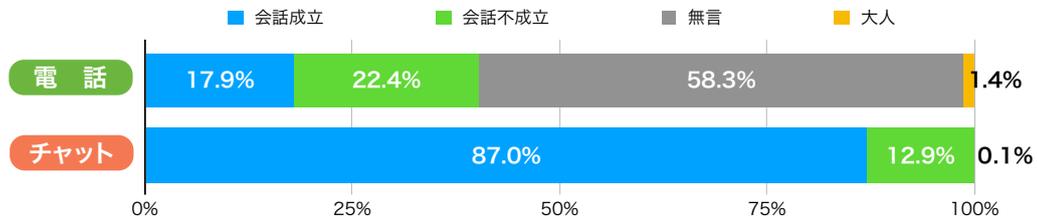
県内公立・私立・国立の学校 約 1,542 校対象 カード枚数 843,324 枚（2024 年度）

配布月	配布先	学校数・配布カード数
7月	さいたま市	169 校・120,800 枚
9月	国立・県立・私立	326 校・200,064 枚
10月	川口市・鴻巣市・上尾市・草加市・蕨市・戸田市・朝霞市・志木市・和光市・新座市・桶川市・北本市・伊奈町	292 校・178,760 枚
11月	川越市・所沢市・飯能市・東松山市・狭山市・入間市・富士見市・坂戸市・鶴ヶ島市・日高市・ふじみ野市・三芳町・毛呂山町・越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町・ときがわ町・東秩父村・熊谷市	367 校・177,520 枚
12月	秩父市・本庄市・深谷市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町・美里町・神川町・上里町・寄居町・行田市・加須市・春日部市・羽生市・越谷市・久喜市・八潮市・三郷市・蓮田市・幸手市・吉川町・白岡市・宮代市・杉戸町・松伏町 インターナショナルスクール	388 校・171,180 枚

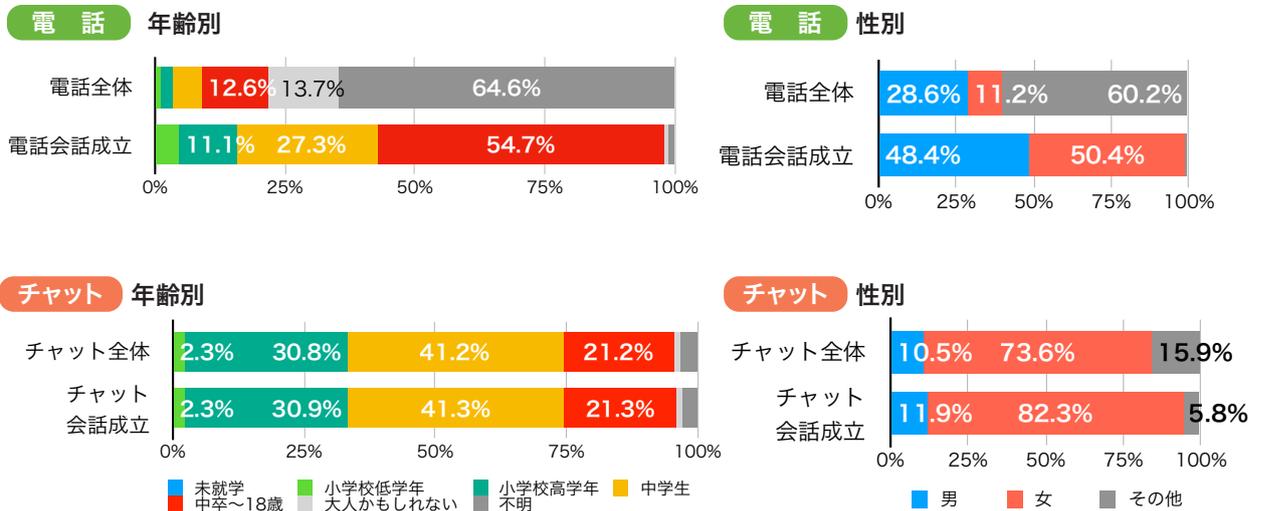
## 4. 発信端末、会話成立状況と年齢・性別



会話成立状況（大人と思われるものが含まれています）



会話成立／年齢・性別の割合（大人を削除したデータ）



\*不明：無言、一言で切れてしまったもの。

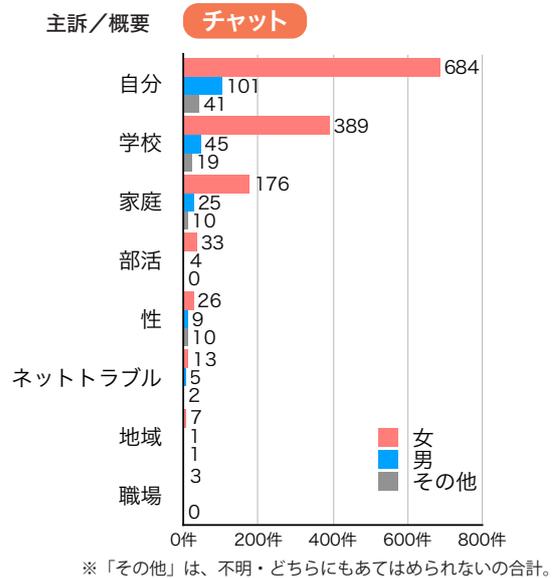
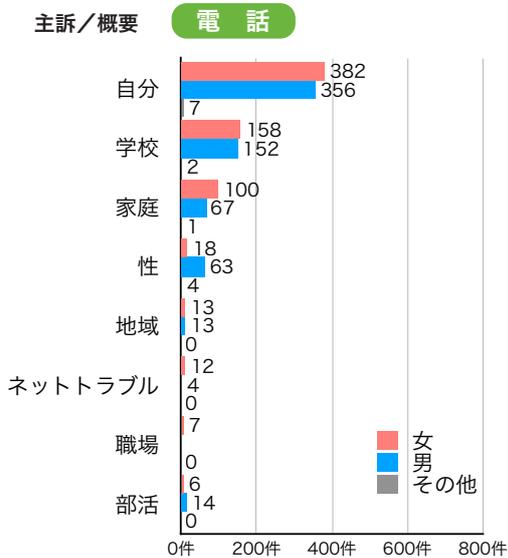
\*性別について：男女だけではないという意識が社会で認知されつつある今、性別そのものが不要という意見に対し「どちらにもあてはめられない」（ノンバイナリー）が追加されました。「その他」は、不明・どちらにも当てはめられないの合計です。

2024年度電話の受信数は7,787件でした。前年度の8,284件と比べると約10%の減少です。子どもたちの電話離れが進んでいることや、受け手ボランティアの不足が主な要因だと思われます。また、7,787件のうち子どもとの会話が成立したものは1,394件と全体の約18%にとどまります。かかってくる電話の約8割が無言電話や大人、受け手が大人認定したもので、この割合は年々増加しています。

チャットの受信数は1,869件で昨年度に比べて約13%増えました。そのうち会話成立は1,626件とチャットの会話成立の割合は高くなっています。

## 5. 主訴概要、通話時間、動機

大人と大人と思われるものは、これ以降のデータでは省いています。



### 通話時間



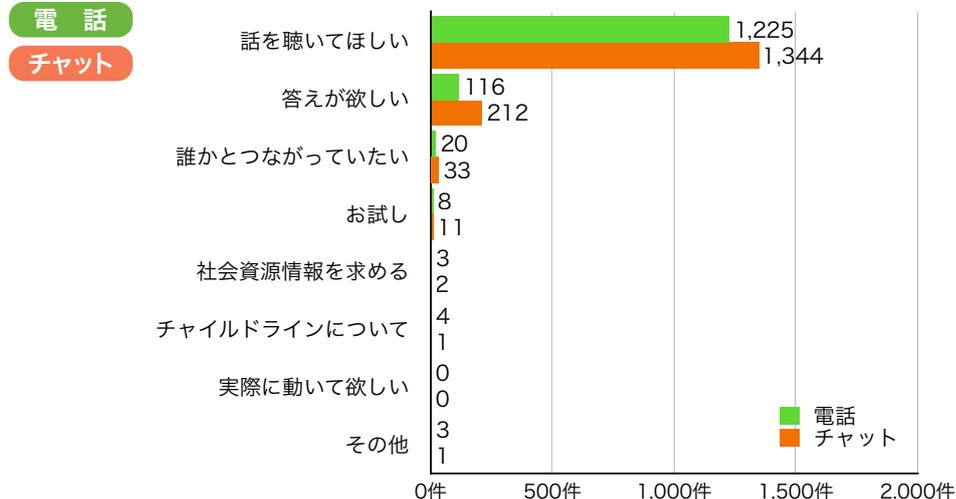
電話は15分未満で終了するものが45%と約半分ですが、比してチャットは全体的に長くなる傾向があり30分前後のものが約半分、45分を超えるものが32%もあります。

一本のチャットに対応している間にも、たくさんのお子もたちが待機をしています。このことからチャット相談員の増員が喫緊の課題となっています。

\*受け手相談員の活動にご興味がある方はこちらのQRコードからどうぞ



### 動機



答えが欲しいより、気持ちを聴いて受け止めてくれることを願う子どもたちが圧倒的に多いようです。

## 6. 年齢別主訴と関係性、主訴ごとの動機

年齢別／主訴（件）

電話

年齢/主訴	自分	学校	家庭	性	地域	部活	ネットラ ブル	職場	合計
未就学	2								2
小学校低学年	27	25	9						61
小学校高学年	66	58	22	4	3		2		155
中学生	187	103	45	29	7	4	5	1	381
中卒～18歳	451	126	89	52	16	15	8	6	763
不明	12		3			1	1		17
合計	745	312	168	85	26	20	16	7	1379

年齢別／主訴（件）

チャット

年齢/主訴	自分	学校	家庭	部活	性	ネットラ ブル	地域	職場	合計
小学校低学年	14	18	6						38
小学校高学年	225	189	68	11	2	4	3		502
中学生	369	168	80	19	23	10	4	1	674
中卒～18歳	194	65	48	15	13	6	1	2	344
不明	24	12	9				1		46
合計	826	452	211	45	38	20	9	3	1604

年齢別／主に誰とのことか（関係性）（件）

電話

年齢/関係性	自分 自身のこと	友人・ 知人	実母	先生・ 顧問・ 指導者	実父	恋人	きょう だい	知らない 人	養父母	先輩・ 後輩	祖父母	同僚	施設 職員	近所 の人	義理の きょう だい	その他	合計
未就学	2																2
小学校低学年	24	23	2	2	1		6	1					1			1	61
小学校高学年	67	52	13	6	9		2				1		1	1		3	155
中学生	219	84	27	11	14	7	7	1	1	1			1	2		6	381
中卒～18歳	441	119	43	33	22	35	15	9	10	7	7	5	2	1	1	13	763
不明	11	2	1		1			1								1	17
合計	764	280	86	52	47	42	30	12	11	8	8	5	5	4	1	24	1379

チャット

年齢/関係性	自分 自身のこと	友人・ 知人	実母	先生・ 顧問・ 指導者	実父	きょう だい	恋人	先輩・ 後輩	知らない 人	養父母	同僚	近所 の人	祖母	その他	合計
小学校低学年	18	11	3	2			1	1		2					38
小学校高学年	235	151	44	23	17	15	2	2	3	3			1	6	502
中学生	398	137	54	30	19	5	6	5	3	2				13	672
中卒～18歳	211	51	24	12	16	8	9	2	2		2	1		8	346
不明	26	9	3	1	1	1			1			1		3	46
合計	888	359	128	68	53	29	18	10	9	7	2	2	1	30	1604

主訴／動機（件）

電話

主訴/動機	自分	学校	家庭	性	地域	部活	ネットラ ブル	職場	合計
話を聴いてほしい	670	283	149	68	21	19	9	6	1225
答えが欲しい	45	27	16	15	5	1	6	1	116
誰かとつながっていたい	16		3	1					20
お試し	8								8
社会資源情報を求める		1		1			1		3
チャイルドラインについて	4								4
実際に動いてほしい									0
その他	2	1							3
合計	745	312	168	85	26	20	16	7	1379

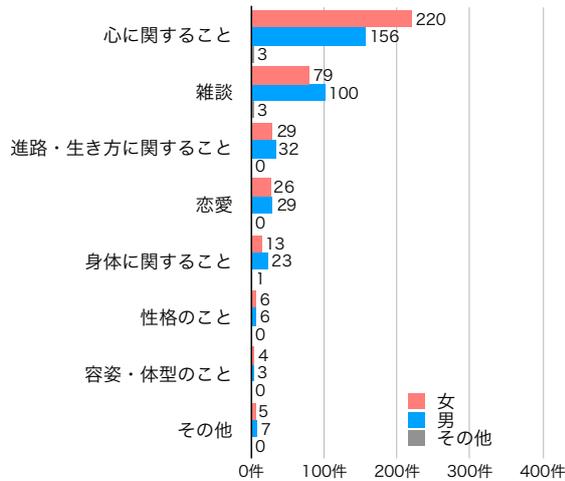
主訴／動機（件）

チャット

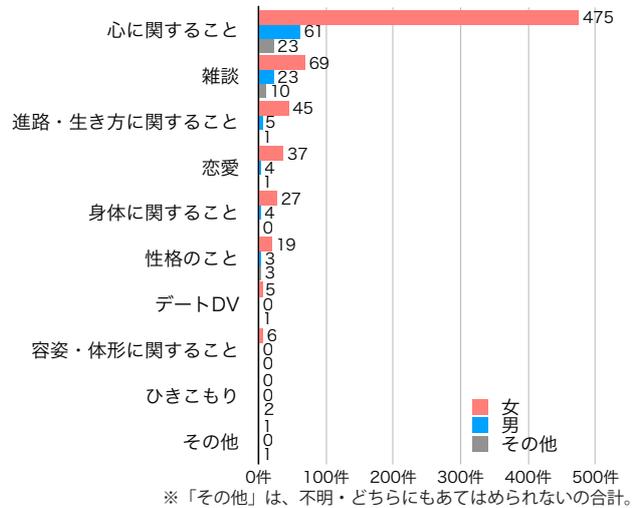
主訴/動機	自分	学校	家庭	性	地域	部活	ネットラ ブル	職場	合計
話を聴いてほしい	702	381	172	35	34		11	6	1344
答えが欲しい	82	71	36	8	3		9	3	212
誰かとつながっていたい	31	1	1						33
お試し	9	1		1					11
社会資源情報を求める			1	1					2
チャイルドラインについて	1								1
実際に動いてほしい									0
その他	1								1
合計	826	454	210	45	37		20	9	1604

# 7. 自分のこと

## 主訴 電話



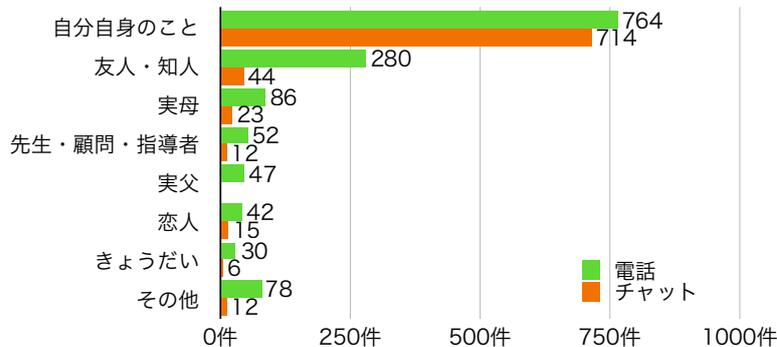
## 主訴 チャット



## 誰とのか

### 電話

### チャット



## 表している気持ち (件)

### 電話

※性別の「その他」は、不明・どちらにもあてはめられないの合計。

性別/気持ち	つらい・苦しい	不安	葛藤・迷い・戸惑い	困惑・困っている	イヤだ	怒り・いらだち	自分に自信がない	楽しみ・期待	うれしい・たのしい	悲しい	孤独・寂しさ	満足・充実感	憂鬱	恐怖・怖い	人目が気になる	不明	その他	合計
男	38	43	37	36	29	18	10	16	13	6	3	12	11	6	10	42	26	356
女	81	66	33	25	23	22	13	5	7	14	17	7	6	10	6	28	19	382
その他	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	7
合計	120	110	71	62	52	40	23	21	20	20	20	19	17	17	16	72	45	745

### チャット

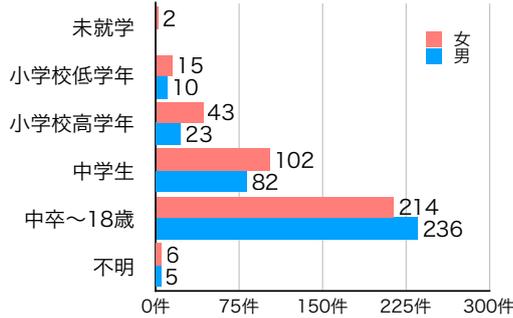
※性別の「その他」は、不明・どちらにもあてはめられないの合計。

性別/気持ち	つらい・苦しい	不安	葛藤・迷い・戸惑い	困惑・困っている	イヤだ	自分に自信がない	恐怖・怖い	悲しい	怒り・いらだち	憂鬱	疲れ	楽しみ・期待	孤独・寂しさ	うれしい・たのしい	人目が気になる	あきらめ	不明	その他	合計
男	18	18	4	11	10	3	3	2	4	2	2	2	2	2	1	3	9	4	100
女	169	104	64	55	44	40	30	16	15	17	12	11	12	11	9	8	56	12	685
その他	9	4	2	1	3	1	2	2	1	1	1	1	0	0	2	0	10	1	41
合計	196	126	70	67	57	44	35	20	20	20	15	14	14	13	12	11	75	17	826

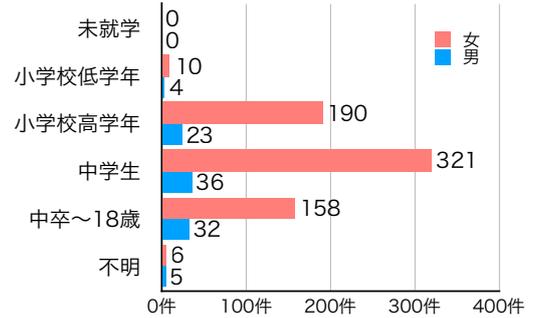
子どもたちが表す気持ちはマイナスのものが圧倒的に多いです。当たり前にあるマイナスな感情だからこそ発散する場所が必要なのだとわかります。気持ちはその人自身のものです。毎年つらい、苦しい気持ちが多く寄せられます。とじこめられた気持ち、飲み込んでしまったネガティブな感情が、どんどん子どもの心の中に蓄積すると問題化します。チャイルドラインは気持ちに寄り添いながらアクティブリスニングを行い、子どもの心の奥底にうもれた気持ちに寄り添います。

自分のこと  
性別/年齢別

電話

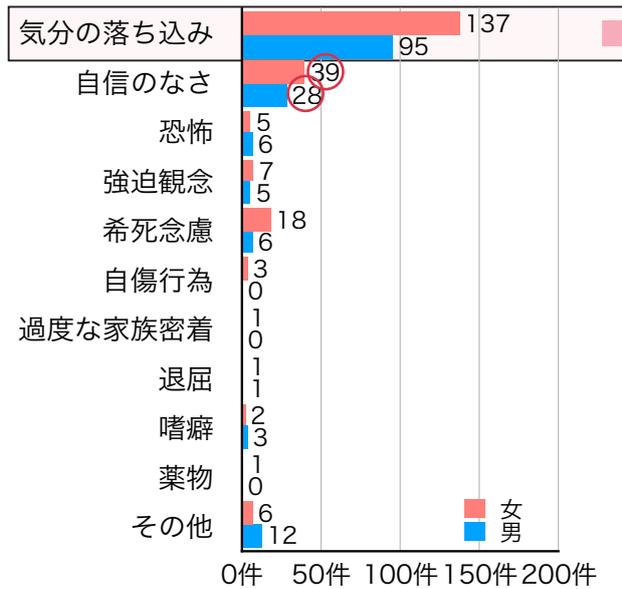


チャット



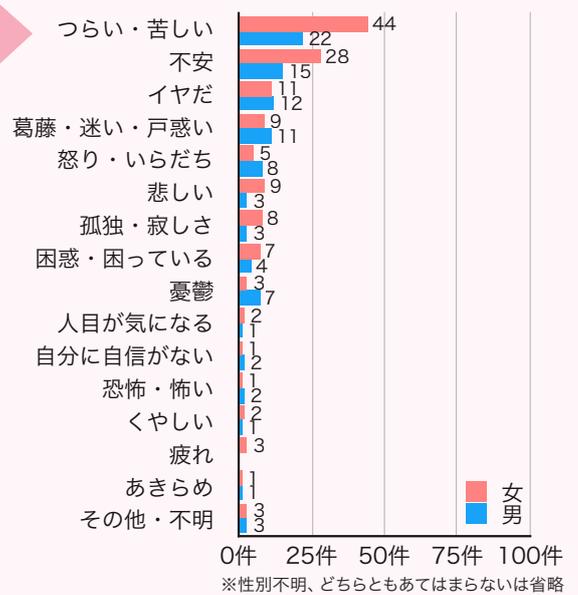
「自分のこと」の内「ころに関すること」の内容

電話



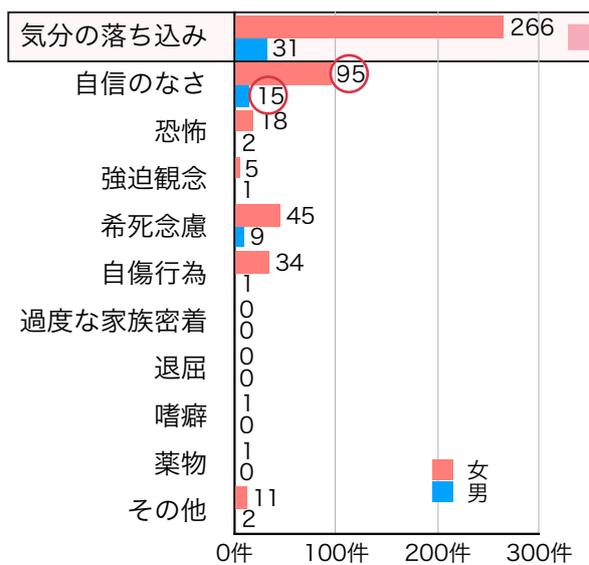
左記「気分の落ち込み」限定の気持ち内訳

電話



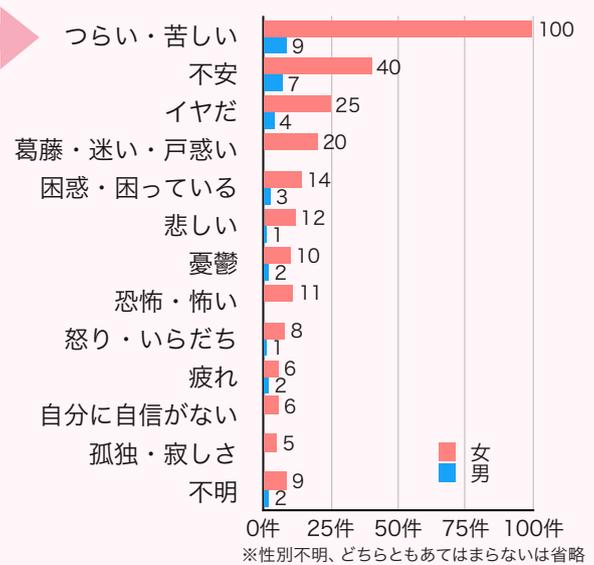
「自分のこと」の内「ころに関すること」の内容

チャット



左記「気分の落ち込み」限定の気持ち内訳

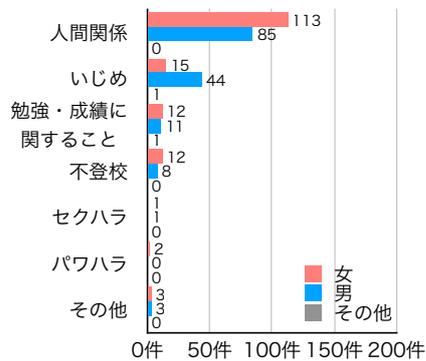
チャット



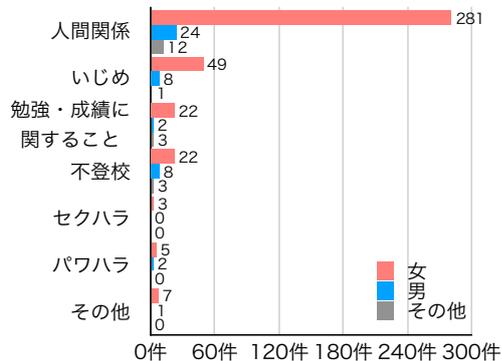
『ころに関すること』の内訳で、「気分の落ち込み」に次いで多いのが「自信のなさ」(電話 17%、チャット 20%)です。子どもは、正解を求められる教育スタイルの中で間違えることへの過度な恐れや、大人の期待が高すぎて期待に応えられなかったときに「自分はダメだ」と感じてしまいます。近年ではSNSの普及により、他人の「良い面」ばかりが見えやすく、自分と比較して劣等感を抱きやすい傾向があります。多様な価値観・成功の形を認める教育が必要となっています。

## 8. 学校のこと

主訴 **電話**

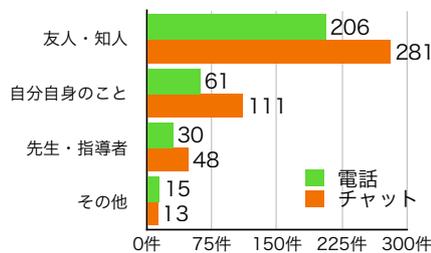


主訴 **チャット**

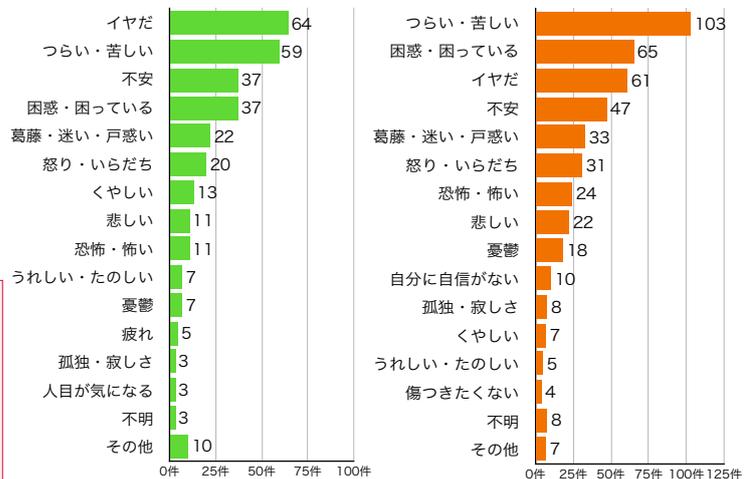


※「その他」は、不明・どちらにもあてはめられないの合計。

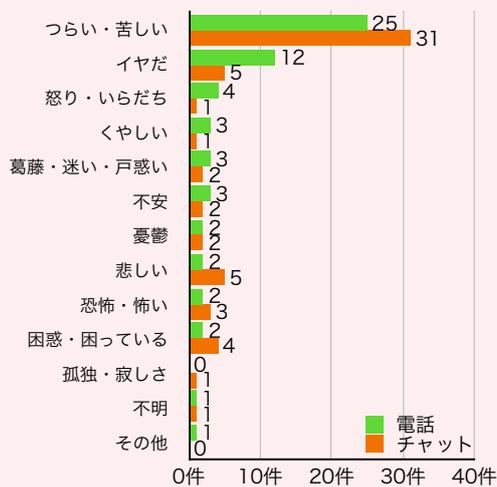
誰のことが **電話** **チャット**



表している気持ち **電話** **チャット**



〈いじめ〉の気持ち **電話** **チャット**

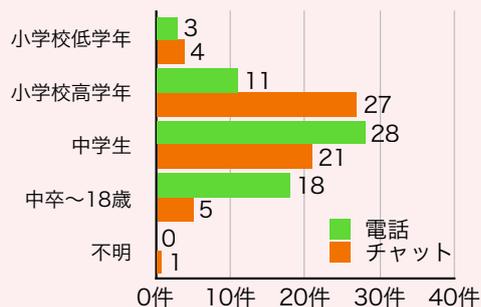


〈いじめ〉の気持ちと年齢

チャイルドラインに繋がったいじめに関するすべての子どもの気持ち（加害者、被害者、傍観者を含む）を表しています。自己肯定感はいじめの加害者、被害者、傍観者に影響を与える重要な要因です。被害者の気持ち、加害者の背景、傍観者の困惑など、それぞれの心を知り、子どもの思いに寄り添います。

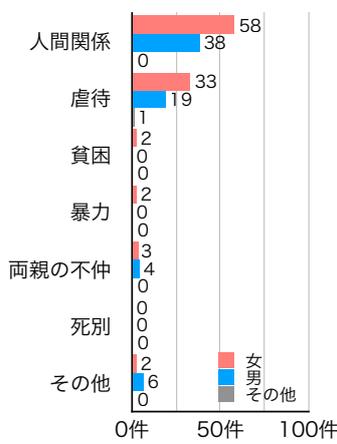
また勇気をもってSOSの声をあげてくれた年齢別のいじめの件数は、小学校高学年と中学生の件数が全体の73%を占め、高校生になると数は19%となり愕然と減少しました。自分の存在を認めてもらえない経験が重くなると、あきらめやインターネット・SNSに依存したり、自分を守るために不登校や引きこもりになるケースも受けています。どんな子どもでも助けを求めることができ、手を差し伸べられる大人や場所が少しでも増えることを望みます。

〈いじめ〉の年齢 **電話** **チャット**

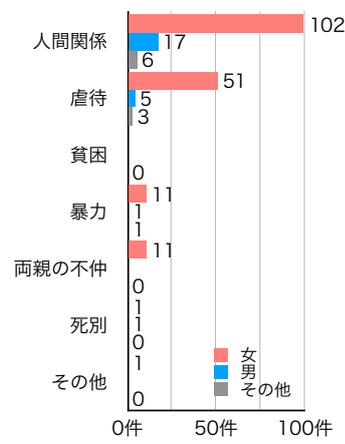


## 9. 家庭のこと

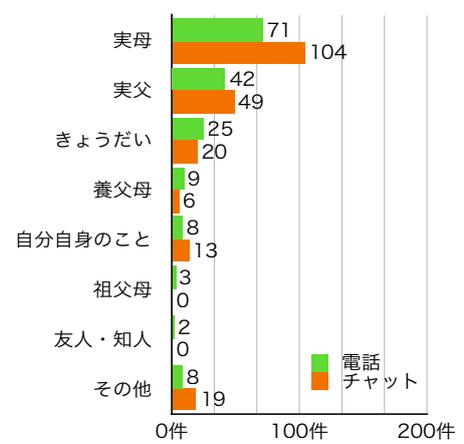
### 主訴 電話



### チャット

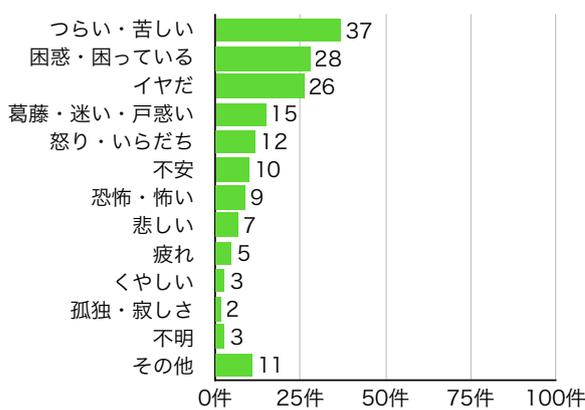


### 誰のことがか 電話

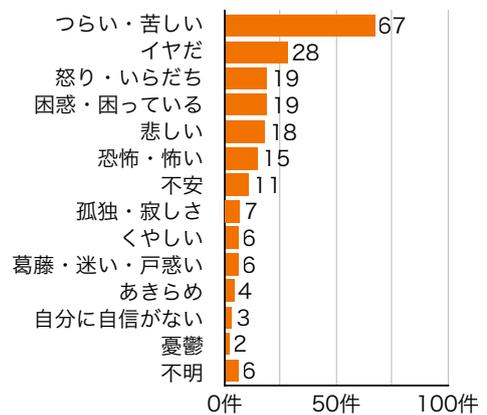


※「その他」は、不明・どちらにもあてはめられないの合計。

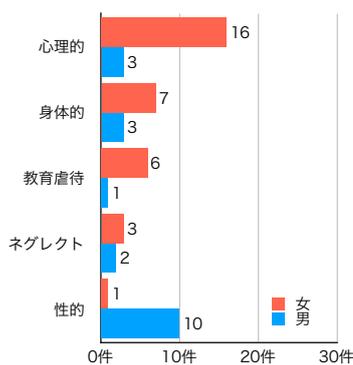
### 表している気持ち 電話



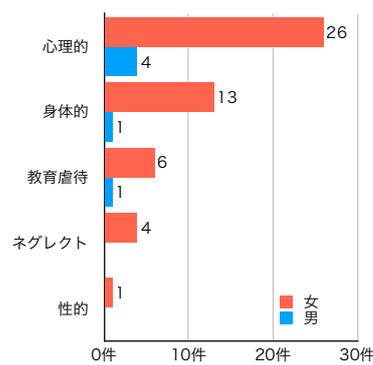
### チャット



### 虐待 電話



### チャット



※性別不明、どちらとも当てはまらないは省略

主訴が家庭のことでその対象が誰かをみると、およそ75%が『親』（養父母含む）です。子どもたちは「本当は大好き。感謝している。」と語りながら「理解してもらえず苦しい、辛い」と訴えます。虐待では、特に心理的虐待、教育虐待が増えています。現代の親は、仕事・育児・介護など様々なストレスを抱えており、子どもへの過剰な干渉や精神的な暴力につながる可能性があります。教育的虐待の多くは「いい学校・いい会社に入れば幸せになれる」という古い価値観から生まれます。親への支援や教育に対する意識改革が必要だと思われます。

# Voice

NPO 法人チャイルドライン支援センターホームページの、『つぶやく』への書き込まれた子どもたちの声を紹介します。  
(公開の許可があるもの。原文まま)

## 【学 校】

- ▶保健室の先生の話がめちゃめちゃ面白かった。体調治ってきてノリノリで話してしまったから、仮病だと思われたかもしれん。でも楽しかったし、いいかな。
- ▶小学校でスクールカウンセラーさんにカウンセリングを受けさせてもらった。いろんなことをたくさん話せたから、ほんのちょっと楽になったけど、クラスに戻ったらいろんな子から嫌な目で見られた。「キモチ、スッキリシマシタカ?」とか言って、からかってくる子もいた。なんか、もうやだ。ストレスの発散になると思ったら、これからもカウンセリング受けようかなと思えたのに。こんなことに毎回なるぐらいなら、もうカウンセリングなんて受けたくない。
- ▶友達が虐待されてるけど、どう助けるべきかわかりません……。私はどうするべきでしょうか。

## 【家 庭】

- ▶姉弟仲良くしたいのにどうしてもイライラして弟にそのイライラぶつけないように自分を傷つけちゃう 親が本当に怖い… 勉強できなくてごめんなさい だめな子どもでごめんなさい 出来損ないでごめんなさい もう他に何を謝ればいいかわからない (泣) 従兄弟、兄弟と比べられるのも嫌だ… 前のお母さんに戻ってよ (涙)
- ▶虐待しないでお父さんおじいちゃん なんでも理想押し付けなくてお母さん どうして味方になってくれないのどうして見て見ぬフリをするのおばあちゃんお兄ちゃん もう生きるの疲れました誰か助けてください (中略) もう習い事は疲れましたどうして私だけ毎日のように必死に頑張らなきゃいけないの 私もみんなみたいに一緒に遊びたいよ なんて私ばっかり もう冷蔵庫に入れないでお父さんもう殴らないでおじいちゃん 疲れた 死にます

## 【性の多様性】

- ▶同性を好きになってしまう。でも私が好きな人は同性愛者は絶対無理って言っている、どうすればいいかな…。同性のことは好きになっちゃダメなのかな…?
- ▶今の社会には「同性愛とかのこと受け止めないと駄目」「キモいとか言うやつは叩け」みたいな知らない俺らマイノリティを守るようなのがあってそういうの意味ない。そんな気遣いされてもバレてるし気使わせながら過ごさせてるとか思うと相手は自分を思って動いてるのにそれも嫌がるとか我儘って自分でも思うもん。価値ないよな。人に気使わせながら文句言う俺とか価値ないよな。

## 【自分のこと】

- ▶死にたいってというか、自分を殺したい。大人になりたくないなあ、大人になる前に死んでしまいたい。自分が大人になって、もし子供を産んだら、次は自分が、、、なんていったらいいのかわからないけど、、、負の連鎖っていうのかな。不幸がずっと続くんだよね。次は自分が苦しめる側に行くのかなど。
- ▶前は必要とされたい、必要とされると嬉しいって思ってたのに、なんか疲れちゃった。今は必要とされることがプレッシャー。休ませてよ。って思っちゃう。
- ▶なんでみんな表の私しか見てくれないんだろう…。苦勞して無いとか言われるけど楽そうとか言われるけどあんたらのせいで今まで以上に心も体も苦しいよ…。裏の私を見てくれる人ってこの世にいないかな。

## 【インターネット】

- ▶SNSに依存してしまっている、依存癖が強いことを改めて自覚。

## 【受け手より】 つぶやきの約3割に死にたい消えたいといった言葉が書き込まれています。けれども中にはこんな報告をしてくれる子どもがいます。

- ▶『私のお母さんは統合失調症です 最近落ち着いてきて穏やかなんです (中略) 前まではひどかった。包丁振り回したり、奇声あげてすっぽんぽんで近所歩き回ったり、私を叩いてけりまくったりした。痛かった。悲しかった。でも、学校の先生とかピアサポートの支援員さんや生活保護の手続きをしてくれたAさんたちは、「私」のことを心配してくれてた。離れて暮らす?と聞かれたとき私は首を振った「一緒に暮らす」って答えた。今はしあわせ。たぶんこの世界は思ったより、助けてって声上げたら助けてくれる「本当のやさしさ」を持った人がいる』

子どもたちのこんなつぶやきが増えることを願いチャイルドラインは活動しています。もっと読んでみたい、どんなこと他につぶやいているのだろう?ご興味ありましたら、こちらのQRからどうぞ。







発行：（認定）特定非営利活動法人さいたまチャイルドライン

発行日：2025年8月20日

問い合わせ先：E-mail：scl@jcom.home.ne.jp

ホームページ：https://saitama-cl.jp/

DTP：ツナガルラボ



さいたまチャイルドライン HP



さいたまチャイルドライン Xアカウント